

⑩ 日本國樹許序(JP)

⑩ 特許出願公報

③ 公開特許公報 (A)

昭62-146581

⑤ Int. Cl. 4

識別記号

片内整理番号

④公開 昭和62年(1987)6月30日

A 23 L 1/212

A 61 K 7/00  
7/50

A 61 K 35/78

NY A 61 K 35/16

A-8515-4B

7306-4C

7133-4C  
6210-1C

6640-4C

審査請求 有 発明の数 2 (全8頁)

④発明の名称 キウイ果実水溶性抽出物及びそれを含有する化粧料又は浴用料

②特 願 昭60-288685

②出 願 昭60(1985)12月20日

⑦ 発 明 者 坪 井 誠 大田市宮町1丁目25番地

榮 明 者 安 藤 裕 大垣市三塚町998番地

發明者 松井 建次 岐阜市加野1667番地7号

⑤出 願 人 一丸ファルコス株式会社 岐阜県山県郡高富町高富337番地  
社





、 飛 鳥 の 鳴 聲

此後，我與陳永發、陳冠中小聚，談到香港前途，我對陳永發說：

## 2. 特殊強攻の難題

( 2 )

キヤ、風乾を、加熱乾燥、水蒸気乾燥法、  
一々の心で胎成法、蒸水浴等乾燥法に大分注意  
乾燥。アムニオン膜の内、少なくともその一つ、  
又行つて以上各乾燥法を組合せて導かれたいと考へ  
図るまでも、ケツイ液質の水溶液乾燥等。

(b) (5) DPP

キウイ果實を乾燥処理、水産資源部処理、リベ  
ミ<sup>®</sup>で乾燥処理、焚火炉や鍋溶媒による炭化処  
理、アムカリ処理の内、少なくともその一つ、又  
は一つ以上の処理を組合せて得る、特許請求の範  
圍第1項記載のキウイ果實の水溶性抽出物を含む  
ことを特徴とする、化粧料又は塗料。

### 3 美明の詳細な説明

### (4) 發明內容的

本発明は、キワイ根災の有効利用に関するものである。

( 産業上の利用分野 )

本説明は、キウイ果實（果肉）中に含まれる成分をもとに、これを化粧品（化粧品類）、浴用剤（浴用剤）をはじめ、その他、飲料、菓子類、加工食品（加工食品）など、食料として利用することが出来る。

【 變 換 的 規 則 】

### ( 3 ) 漫 說 西 遊

キヅイは、マナタビ科に属するツル性の樹木で、葉卵大の葉夾く表皮に細色の短毛を有する。を付け、果径は6~8cmの程度、果肉はエタラドグリーンのお汁質、甘酸、酸味を呈している。

わが國の収穫期は、毎年10月末~翌年1月頃であり、産地には少なくとも30個以上、多いものでは500個程度の果實を付ける。

[illegible]